

## 6 号機原子炉建屋における水漏れについて

当所 6 号機は定期検査中ですが、平成 18 年 3 月 9 日午前 11 時 25 分頃、原子炉建屋において、残留熱除去系 \* A 系の水張り作業をしていたところ、建屋地下 2 階の残留熱除去系のポンプ B 室で水漏れが発生していることを、当社社員が発見しました。

現場を確認したところ、残留熱除去系 A 系の復旧に際し、本来閉止状態となっているべき B 系との連絡弁（以下「当該弁」）が開いていることがわかりました。水漏れは、当該弁を閉めたことにより停止しました。

調査の結果、運転員が、点検が終了した残留熱除去系 A 系の復旧に際し、当該弁とその近傍に設置されている弁番号が類似した弁（閉止状態）とを誤認し、当該弁の閉止状態を確認していなかったため、残留熱除去系 A 系の水張りを開始した際に、同時期に点検していた残留熱除去系 B 系に水が流入し、B 系ポンプの配管の開放部より水が漏れたことがわかりました。

弁を誤認した原因は、運転員が弁の開閉確認にハンゴを使用する際、手順書を携帯せず、結果的に手順書と弁との照合を実施しないで開閉確認を行ったためとわかりました。

対策として、弁を操作する際には手順書を携帯し、弁表示札に表示されている弁名称および弁番号を手順書と照合し、確認することを作業前ミーティングにおいて注意喚起するとともに、事例検討会を実施いたします。

なお、漏えい量は約 18 リットル、放射エネルギーは約  $2.9 \times 10^6$  ベクレルでしたが、漏えいした水は全て堰内にとどまっており、拭き取り清掃を実施しております。

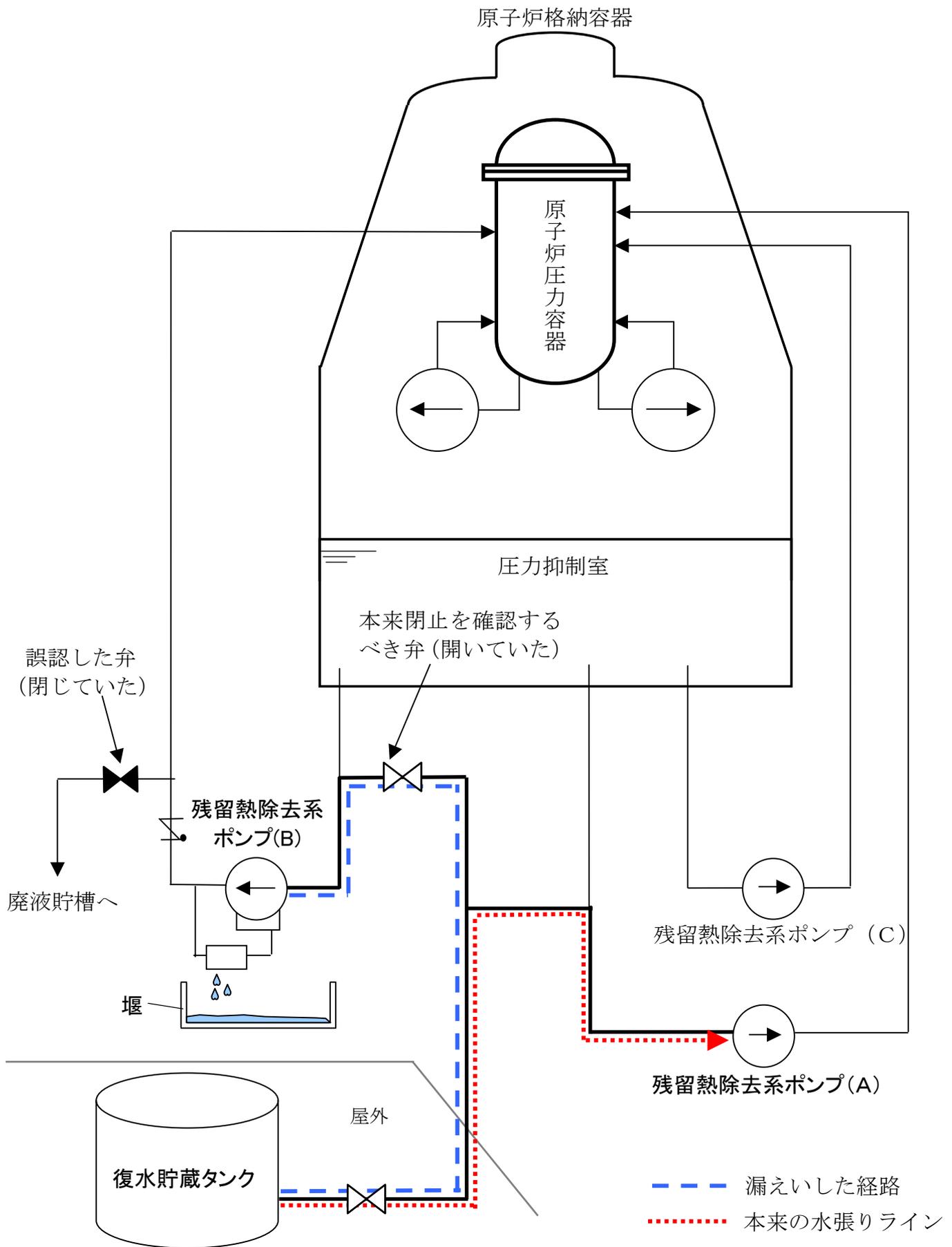
これによる外部への放射能の影響はありません。

以 上

### \* 残留熱除去系

原子炉を停止した後の冷却（燃料の崩壊熱の除去）や非常時に原子炉水を維持する系統。

これは「当社原子力発電所における不適合事象の公表方法の見直しについて」（平成 15 年 11 月 10 日お知らせ済み）における区分Ⅲの事象として、前日に発生した不適合事象を翌営業日に公表しているものです。



6号機原子炉建屋内における水漏れ概略図